

きらきら

☆よりよいコミュニケーションを求めて☆

No.10 令和3年2月8日(月)
富岡市立一ノ宮小学校言語指導教室
富岡市一ノ宮16番地1
言語直通 0274-64-9045
一ノ宮小 0274-62-2034



コロナ禍での生活ももう少しで一年です。初めての経験ばかりでなかなか見通しの立たない毎日ですが、保護者並びに在籍校の学級担任の皆様にご協力いただき、落ち着いた雰囲気です。3学期の指導がスタートできました。今後も感染症対策をしっかりと行いながら、楽しく学習できるよう努めてまいります。

言語指導教室で行っている主な感染症対策

- ・指導の前に検温を行う。
- ・アクリルやビニールのパーティションを使用して、指導者と児童の間を仕切る。
- ・マスクを着用して指導を行う。
- ・マスクを外す必要のある指導では、パーティションと併せ、指導者はフェイスシールドやマウスシールドを着用して飛沫が遠くへ飛ばないようにする。
- ・常時、窓やドアを開けて換気を行う。
- ・プレイルームには、大型の加湿空気清浄機を設置する。
- ・一人の指導終了ごとにドアやパーティション、机やイス、鏡、教材、洗面台等を消毒する。
- ・指導の前後に手洗いや手指消毒を行う。



お知らせ・お願い

- ◆通級の際、マスク、ハンカチ、上履き(スリッパなど)を持たせてください。
- ◆風邪やインフルエンザなどにかかりやすい時季ですので、お体をご自愛ください。在籍する学級が学級閉鎖の時には、お子さんが元気でも、言語指導教室への通級もお休みとなります。また、ご家族の方が感染症に感染している場合は、ご配慮をお願いいたします。
- ◆指導のようすなど担当者に聞きたいことがあるときにもお気軽にご連絡ください。

一ノ宮小学校言語指導教室 ☎ 0274-64-9045 (教室直通)

※指導等で担当者が不在のときは、留守番電話に伝言をお願いいたします。

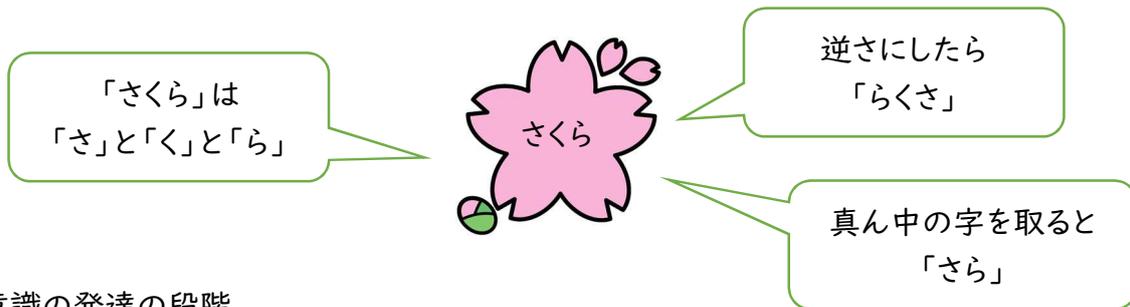
※緊急の場合は一ノ宮小学校(0274-62-2034)までご連絡ください。

おんいんいしき
「音韻意識」ということばをご存じですか？

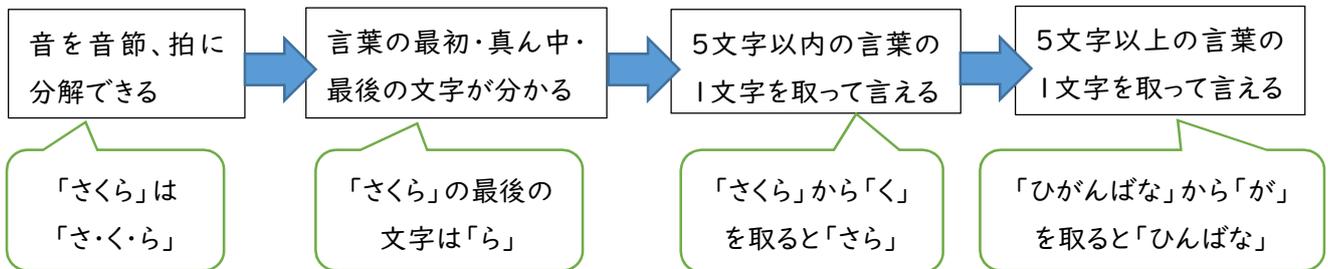
音韻意識とは、ことばがいくつの音に分かれているか、その音がどの順で並んでいるのかが分かり、その音を操作する能力のことを言います。

例をあげると、

「さくら」が「さ」と「く」と「ら」の3音からできていて、「さ・く・ら」の順番で並んでいることが分かり、逆さにしたら「らくさ」になることや真ん中の字を取ると「さら」になることが分かるということです。



音韻意識の発達の段階



音韻意識は、文字の読み書きや発音とも深い関係があります。音韻意識が弱いと、

- ①文字を正しく聞き取れず、言葉を言い誤ったり、書き誤ったりする。
- ②言葉のまとまりで読むことが難しく、音読がたどたどしくなる。
- ③特殊音節（小さい「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」や伸ばす音）が正しく書けない。

など、学習全体に困難を感じやすくなる場合もあります。国語の教科書には、音韻を意識した学習が取り入れられていたり（「ねこ」と「ねっこ」など）、授業中、音に合わせて手拍子することで音韻を意識した活動を行ったりすることもあります。身の回りにも音韻意識が養える遊びがたくさんありますのでご紹介します。

一ノ宮小学校のホームページ内「言語指導教室」のページでは、他にもご家庭でできる遊びなどを紹介していますのでご覧ください。

音韻意識を養う遊び

- ★言葉集め……「ひ」から始まる言葉は？ 3文字の言葉は？ など
- ★文字当てクイズ…「だいこん」の3文字目は？ 「かぼちゃ」の「ぼ」は何文字目？
- ★音韻すごろく……数字の代わりにイラストの描かれたサイコロ（シールを貼ってもいいですね）を使い、出た絵の音の数だけ進む。（「うさぎ」なら3マス）

他にも、逆さ言葉・しりとり・たぬき言葉などがあります。お子さんと、お気に入りの遊びを見つけてみてください。